平成29年度シラバス

学番40 新潟県立栃尾高等学校

教科名	国語	科目名	国語総合	単位数	4
科目の性質	必履修		学年(学級)	1年	
使用教科書	「新編 国語総合」 (教育出版)		副教材等	「巻頭増補 最新国語便覧」 (教育出版) 「新版 チャレンジ常用漢字」 (第一学習社)	

1 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> ・国語の基礎基本を学ぶことで、国語を的確に理解し、適切に表現する能力を身につける。 ・国語による言語学習を通じて、日本語への関心を深め、自ら学び自ら考える態度を育み、個性豊かな人間として生きていくための国語力を身につける。
--

2 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な漢字や語句・慣用表現とその意味について正しく確実に身につけ、日常生活における言語活動の充実を図る。 ・評論文を読むことで、論理的に読解する能力の基礎を育成する。 ・小説や韻文に触れることで、作者の心情や表現を理解し、心や言語感覚を豊かにする。 ・古典の文章を読むことで、古語や漢語に興味を持たせるとともに、日本古来の文化や美意識を理解し、古典に親しむ態度を育む。

3 学習計画

	月	学習活動（指導内容）	学習のねらい	時間	評価方法
前期	4	随筆 「頭の中の無限大」 坂口 恭平 『赤毛のアン』との出会い 茂木健一郎 現代文入門 —未知の自分と出会う—	○作品と出会い自分を変える。 ・視点を変えることで、大きな発見をした筆者の考え方を理解する。 ・同様の経験をしたことがあれば、紹介し合う。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への出席状況 ・授業への取り組み方 ・課題等の提出状況 ・小テスト ・発問への解答 等 第1回定期考査
	5	小説1 「デューク」 江國 香織 「ほねとたね」 川上 弘美 小説の読み方I 人物の心情をとらえる	○人物の心情を読み取る。 ・私、デューク、少年の人物像はそれぞれどのように描かれているか、できごとと心情を整理する。 ・作品の魅力について話し合う。	12	
		古文入門 「古典の一節を音読しよう」	○中学校などで読んだ作品の冒頭文を音読し、古文の世界に親しむ。 ○古文が言葉による文化遺産であることを理解し、古文に関する興	2	

		味・関心を広げる。 ○歴史的仮名遣いに慣れ、古典についての興味・関心を広げる。		
6	説話 「児のそら寝」 『宇治拾遺物語』 「老僧の水練」 『古今著聞集』	○登場人物や情景、心情などを表現に即して正確に読み味わい、当時の人々のものの感じ方、考え方に思いをはせる。 ○歴史的仮名遣いに慣れ、現代語訳の仕方について理解する。	6	・授業への出席状況 ・授業への取り組み方 ・課題等の提出状況 ・小テスト ・発問への解答 等
	評論 1 「想像するちから」 松沢 哲郎 「彼らがそれを学ばなければならない理由」 内田 樹	○意見と根拠を読み取る。 ・書かれている問いと答えと根拠を整理し、筆者が人間と動物との違いはどのようなことだと主張しているかを理解する。 ・文章の構成図を作成し、構成と内容を整理する。 ・子どもたちが学ばなければならない理由について筆者がどのように考えているかを理解する。 ・語彙やキーワードに注目し、筆者が意見を補強するために、どのような理由や根拠をあげているかを理解する。	16	第2回定期 考査
	詩 「二十億光年の孤独」 他 谷川俊太郎	○詩の音楽性とイメージを感じ取る。 ・「二十億光年の孤独」の「孤独」の意味を考える。	4	・授業への出席状況 ・授業への取り組み方 ・課題等の提出状況 ・小テスト ・発問への解答 等
8	俳句・短歌 「折々の歌」 大岡 信 「作品」 河東碧梧桐 他	○短詩型文学の技法と魅力を知る。 ・筆者の鑑賞文を参考に、短歌や俳句を鑑賞する際の着眼点を学び、各俳句・短歌の情趣を味わう。 ・俳句では、各作品の季語や句切れ、切れ字などを調べ、短歌では、各作品の句切れや歌の止め方を検討し、表現効果を考える。 ・各作品を朗読し、感動の中心や表現の特徴などについて考え、発表したり感想文を書いたりする。	8	第3回定期 考査
	漢文入門 「訓読の基礎」 「名言」	○漢文が日本の古典であり訓点が先人の知恵であることを理解する。 ○訓読の基本を理解し、訓点に従	4	

			って漢文を読んだり書き下し文に改めたりする。		
		<p>故事</p> <p>「助長」 『孟子』</p> <p>「虎の威を借る狐」</p> <p>「蛇足」 『戦国策』</p>	<p>○故事成語の元になった文章を正しく訓読し、叙述に即して的確に読み取る。</p> <p>○それぞれの文章の内容を的確に読み取りながら、故事成語の意味や、漢文の構造について理解する。</p>	8	
		<p>評論 2</p> <p>『水の東西』</p> <p>山崎 正和</p> <p>『治具』</p> <p>塚本 由晴</p>	<p>○抽象的な表現と思考に慣れる。</p> <p>・「鹿おどし」と「噴水」という具体的な事物の違いに注目し、日本と西洋の水に対する感じ方の違いという抽象的な異文化比較に至る筆者の思考を的確に読み取る。</p> <p>・本文の段落構成に注目して、筆者がその主張をいかに効果的に展開させているかを理解する。</p>	1 2	
後	10	<p>小説 3</p> <p>『羅生門』</p> <p>芥川 龍之介</p> <p>『夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について』</p> <p>村上 春樹</p>	<p>○視点や語りに着目し作品を読む。</p> <p>・登場人物の設定や各場面における事件の展開、主人公の心理変化の推移を把握する。</p> <p>・作品から読み取ることができる主題について考える。</p> <p>・登場人物の心に入り込んだ「語り」や「視点」に着目して、小説を読む方法を身につける。</p> <p>・登場人物の像や舞台背景が省筆されていることの効果を考える。</p> <p>・「物語」の「効用」について作品に即して考える。</p>	1 2	<p>・授業への出席状況</p> <p>・授業への取り組み方</p> <p>・課題等の提出状況</p> <p>・小テスト</p> <p>・発問への解答</p> <p>等</p> <p>第 4 回 定期 考査</p>
期	11	<p>随筆</p> <p>『徒然草』</p> <p>・「高名の木登り」</p> <p>・「仁和寺にある法師」</p> <p>・「花は盛りに」</p>	<p>○随筆に描かれた情景、心情などを表現に即して読み味わい、書き手の意図を捉える。</p> <p>○三大随筆の中から『徒然草』を読み、その特色を知り、古典への興味・関心を広げる。</p> <p>○係り結びや過去の助動詞について理解する。</p>	1 2	
	12	<p>評論 3</p> <p>「見えない貧困</p> <p>—自己責任論批判—」</p> <p>湯浅 誠</p>	<p>○異論・反論を踏まえた論の展開を知る。</p> <p>・筆者の主張を要約する。</p> <p>・貧困を当事者の責任だといって放</p>	1 5	<p>・授業への出席状況</p> <p>・授業への取り組み</p>

1	「自然保護の二面性」 森岡 正博	置していいのか、私たちはどんな社会を目ざすべきかについて、筆者の考えを読み取る。 ・自己責任について意見文を書く。 ・自然保護という言葉が内包する矛盾を知り、人類が自然に対してどのような態度をとるべきかを考える。		方 ・課題等の提出状況 ・小テスト ・発問への解答 等
2	物語 『伊勢物語』 ・「芥川」 ・「さらぬ別れ」 『竹取物語』 ・「かぐや姫の昇天」	○古典の物語を、適切な表現の仕方を考えながら、現代の物語に書き換える。 ○物語文学における和歌の役割に着目しながら、人物・情景・心情などの表現に即して読み味、物語文学への興味・関心を広げる。 ○敬語や古語の知識を広げる。	10	第5回定期 考査
3	唐詩 ・「江雪」 ・「送元二使安西」 ・「春望」 ・「香炉峰下新卜山居草堂 初成偶題東壁」	○詩の表現上の特色を把握し、詩に詠み込まれた情景や心情を読み味わい、詩の主題を理解する。 ○優れた表現に親しみ、豊かな心情や感性を養う。 ○近体詩の詩形・押韻・対句・一句の構成などについて理解する。	5	
	思想 ・「論語」 ・「老子と荘子」	○日本人に人生観に大きな影響を与えた中国思想に触れることで、より豊かな生き方を考える。	6	

4 課題・提出物等

- ・副教材「チャレンジ常用漢字」から漢字小テスト（年間23回）を実施し、各定期考査では、指定範囲について取り組み答え合わせをしたものを提出することとする。
- ・授業のノート、授業で配布したプリント・ワークシート等も所定のファイルに綴じて提出することとする。
- ・長期休業中の課題（「チャレンジ常用漢字」・夏季休業中や冬季休業中の課題問題集、「One week trial」、その他）も答え合わせをして提出することとする。

5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度

- ・課題に対して主体的に取り組み、国語力を向上させようという姿勢が見られる。
- ・授業・考査への取り組み、副教材への取り組み方やノート・副教材など提出課題の状況を重視する。

話す・聞く能力

- ・自分の考えをまとめてわかりやすく筋道立てて話したり、相手の意見を的確に聞き取ることができる。
- ・授業での受け答えや取り組む姿勢で評価する。

書く能力

- ・自分の考えをまとめたり、課題に応じて適切に文章を書くことができる。
また、教材などから学んだ表現や語句などを自分の表現力に生かしている。
- ・授業中の取り組みや考査等で評価する。

読む能力

- ・文章内容を表現に即して正確に捉え、読み味わっている。
- ・授業や提出課題への取り組み、考査により評価する。

知識・理解

- ・漢字、語句、文法等を理解し、知識を正確に身に付けられる。
また、古典における伝統文化やその背景等の基本的な事柄・理念を理解できる。
- ・授業や提出課題への取り組み、考査により評価する。

6 担当者からの一言

現代文・古文・漢文の様々なジャンルの文章を学習します。作品のおもしろさを味わいながら読み進めていきましょう。生涯にわたり必要となるであろう漢字や語句は年間を通して学習していきます。

個々の理解度を見ながら、基礎的な内容から古文、漢文を含め大学進学に対応できる応用的な内容まで学習します。将来の進路を見据えて積極的に取り組みましょう。